

共通小委員会報告

論文集編集小委員会

2017年度 論文集編集小委員会：委員名簿

委員長：五十嵐晃 京都大学	佐藤 清 (株)大林組
幹事長：飛田哲男 関西大学	鈴木崇伸 東洋大学
委員：(18名)	中村 晋 日本大学
秋山充良 早稲田大学	野津 厚 港湾空港技術研究所
奥村与志弘 関西大学	原田賢治 静岡大学
小野祐輔 鳥取大学	古川愛子 京都大学
片岡正次郎 国土技術政策総合研究所	宮島昌克 金沢大学
梶田幸秀 九州大学	目黒公郎 東京大学生産技術研究所
北原武嗣 関東学院大学	吉田雅穂 福井工業高等専門学校
清野純史 京都大学	吉見雅行 産業技術総合研究所
酒井久和 法政大学	

地震動，構造物，地盤，防災，津波，災害調査，地下構造物・ダム等を専門とするメンバーで構成している。

論文集編集小委員会の活動内容

- ①地震工学研究発表会の開催
 - 講演論文投稿期限：9月頃
 - 研究発表会の開催：10月頃
 - 優秀講演賞の候補者の推薦：地震工学委員が投票
- ②土木学会論文集A1特集号（地震工学論文集）の編集
 - 研究発表会の講演論文を対象
 - 論文投稿期限：11月頃
 - 査読結果通知：12月末頃
 - 登載決定通知：3月頃
 - 論文集の発行：8月頃
 - 論文賞・論文奨励賞の候補者の推薦

2017年度活動報告

- 1) 委員会
 - 第1回委員会：2017年10月12日 @くまもと県民交流館パレア 会議室5 13名参加
論文集査読スケジュールの確認
 - 第2回委員会：2018年2月17日 @TDP市ヶ谷カンファレンスセンター 16名参加
投稿論文の掲載可否の判定会議
 - その他，適宜メール審議
- 2) 行事
 - 第37回地震工学研究発表会：2017年10月11日，12日
@くまもと県民交流館パレア，参加者235名（発表170件）
 - 第37回地震工学研究発表会見学会：2017年10月13日
@熊本地震被災地見学
- 3) 出版物等
 - 土木学会地震工学研究発表会講演論文集(CD-ROM) 暫定版(2017年10月)
正式版(2018年3月発行)
 - 土木学会論文集A1特集号（地震工学論文集Vol.37）掲載数101編
2018年9月頃発刊予定

過去7年間の参加者・論文数等の推移

年度	研究発表会				論文集
	開催場所	講演者	聴講者	合計	論文掲載数
2011	東大生産技術研究所	172名	81名	253名	129編
2012	東大生産技術研究所	143名	75名	218名	96編
2013	東大生産技術研究所	146名	53名	199名	92編
2014	まちなかキャンパス長岡	136名	48名	184名	96編
2015	東大生産技術研究所	128名	60名	198名	90編
2016	金沢歌劇座	158名	76名	234名	97編
2017	くまもと県民交流館パレア	170名	65名	235名	101編

傾向分析

- ・講演者数は、隔年開催が毎年の開催に変わった2012年に激減したが、2012年以降は年々緩やかに減少傾向であった。
- ・2016年以降、参加者増となった。熊本地震関連の発表が活発であった他、地盤工学会、日本地震工学会への後援依頼とメールニュースでの広報なども、参加者獲得に効果があったと思われる。
- ・論文掲載数は2012年以降ほぼ一定で、講演者数に連動していないように見受けられる。

2018年度、発表会でご講演頂きますよう、よろしくお願い申し上げます！